

令和2年度第2回医療審議会・議事概要

1 日時・場所

令和3年2月19日（金）10:00～11:15 ・ 視聴覚室

2 審議（委員の主な意見）

（1）第7次山口県保健医療計画の中間評価・見直し（案）について

【杉野会長】

・第1回医療審議会での委員の皆様の意見を取り入れた中間評価・見直し案になっている。

特に質疑なし

<議案は承認された>

（2）災害拠点病院の指定について

【小山委員】

・二次医療圏の住み分けや中心となる病院など、役割分担はどうなっているのか。

⇒・発災時に派遣される統括DMATが状況を見て、中心となる病院や役割を決めるなど、流動的に対応できる。

【杉野会長】

・人口に対する箇所数など、目安の数が決まっているのか。

⇒・災害拠点病院の指定において、目安は示されていない。
・DMATの活動拠点としても可能な限り増やすという国の方向性が示されており、まずはDMATがきちんと対応でき、災害時に地域の医療の本部機能を担えるようなところを、いかに増やしていくかということで指定を行っている。

【杉野会長】

・拠点病院でも災害時には機能不全になることもあるので、多数指定しておいて良いのではないかということか。

<議案は承認された>

（3）災害拠点精神科病院の指定について

【藤本委員】

・指定後の体制維持のため、国からの継続的な補助などがあるのか。

⇒・体制整備だけでなく、その維持の上で、DMAT、DPATの研修経費や、災害が発生した場合、消耗した医療資機材の整備などへの措置についても行われている。

<議案は承認された>

(4) 病床機能再編への支援について

【杉野会長】

・いずれの圏域においても、地域医療構想の推進に向けて適切な申請であることが確認されているということによいか。

⇒・確認されている。

特に質疑なし

<議案は承認された>

3 報 告

(1) 地域医療介護総合確保基金（医療分）の取組状況について

【杉野会長】

・消費税でまかなわれている基金であるが、将来的にも続くものなのか。
・感染症対策関係の医療従事者確保や医療のデジタル関連の充実も必要であり、（基金が使えるかわからないが）検討していただきたい。

⇒・社会の情勢から考えると、近いうちに終わる基金ではないと考えている。
・担当部署に伝えていきたい。

【西生委員】

・コロナ感染症対策に関連して、必要度が上がっている感染症認定看護師の質の向上、育成についても今後検討してほしい。

⇒・担当部署に伝えていきたい。

【西生委員・田中委員】

・認定看護師については、今後県立大学と看護協会が連携し、必要員数の確保を目指すことにしている。

(2) 医療法人設立認可等の状況報告について

意見等なし

(3) 令和3年度健康福祉部予算（案）の概要について

【田中委員】

・コロナ対策については、超予防的な観点からも考えていくことが重要であるため、県下で発生しているクラスターの原因を探り、今後の医療の安全安心につなげていくことが必要ではないか。

・5Gの遠隔診療や医師の手術などの遠隔指導など、デジタル方面の予算の充実をお願いしたい。

⇒・とても貴重な御意見をいただいた。今後の対策等で検討させていただきたい。
・今年度より「5Gを活用したへき地医療機関遠隔サポート事業」を始めており、今年度はハード面の整備が主だったが、来年度も引き続き実地指導など実証実験を行い遠隔医療の整備につなげていきたい。

【小山委員】

・子育てAIコンサルジュ導入事業があるが、この先、例えば日本産科医学会や日本歯科医師会などが展開している、様々なアプリとの連携を考えてもらい、横のつながりを発展させ、より広い活用をしてもらってはどうか。

⇒・担当課に伝える。